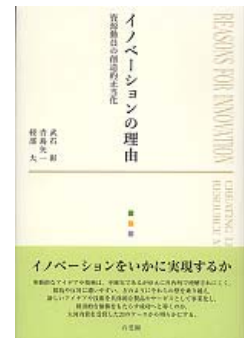


受賞作品

イノベーションの理由 —資源動員の創造的正当化

武石彰・青島矢一・軽部大著

有斐閣 xxii,506 ページ,xiii、3800 円（税別）



書評

23 の成功事例を分析

神戸大学教授 金井 壽宏

製品化・量産化段階に至ったイノベーションの成功事例に授与される大河内賞を受賞した 23 件を分析した理論的、実証的な研究書である。

研究開発活動は販売や生産等に比べて、不確実性が高い。それゆえ、イノベーション推進には資源動員の正当化（理由付け）が必要となる。それなしに特定の製品技術や生産技術に投資を続けることはできない。

イノベーションを導く研究開発活動自体に加え、資源動員の正当化にも創造性が求められることを、個別事例から丹念に抽出したのが、本書の大きな貢献である。

意欲作だが、問題点がないわけではない。例えば資源動員の創造的正当化には負の側面もあるだろう。研究能力で優れた人が資源動員（ある意味で雑用）にも創造的に取り組まなければならないというのはコストではないか。このコストについては十分に議論されていない。

そうした難点や著者以外を含む共同研究をベースとする研究書の評価の難しさを指摘する声はあったものの、総合的に見てレベルの高い優れた経営書である。